

プロジェクトマネジメント演習

第 2 班 報告書

158576C 新里亮太

2015 年 8 月 16 日

目次

1	プロジェクト憲章	1
1.1	プロジェクト名と概要	1
1.2	メンバーと組織	1
1.3	目標	1
1.4	独自性と制約	1
1.5	成果物	2
1.6	日程と終了	2
2	プロジェクト計画・実績	3
2.1	目標とスコープ	3
2.2	WBS とアクティビティ	3
2.3	スケジュール	4
2.4	リスクと課題	4
2.5	チームとコミュニケーション	4
2.6	実績と品質	4
2.7	応用	4
3	終結	4
3.1	概要	4
3.2	メンバー評価	4
3.3	プロジェクト評価	4
3.4	教訓	4
3.5	講義	4
3.6	関連資料	4

1 プロジェクト憲章

1.1 プロジェクト名と概要

本プロジェクトは、「ホログラムで広がる無限の世界」と題し、現在研究・開発が進んでいるホログラム技術と、Fairy Lights という技術を組み合わせて部屋に投影することで部屋の内装などを変更する。

1.2 メンバーと組織

学部生

- 155702F 大城由也
- 155708E 中村孝道
- 155743C 平良柚那
- 155750F 翁長泰司
- 155756E 金城愛梨
- 155757C 平本嶺河

院生

- 158574G 比嘉健太
- 158576C 新里亮太

1.3 目標

部屋の模様替えをする際、かなりのコストと労働力が必要となる。また、宇宙空間や大自然の中で生活することは現代社会に生きる私たちにとって非現実的であると言える。更に、アレルギーや危険性などで部屋で飼うことのできない動物などもある。これらの問題を解決するために、触ることのできるホログラム技術を用いて部屋の内装を変更したり、動物を投影する。

1.4 独自性と制約

独自性

- プロジェクトメンバーの全員が情報工学科の学生である
- 触れるホログラムを用いて部屋の内装などを変更する
- ホログラム投影機を一般家庭に普及させる
- 現段階では研究中の技術である Fariy Lights を用いて企画を行う

制約

- 資金がない

- 講義やアルバイトなどで全員が同じ時間作業できるわけではない
- 院生を含めたミーティングが週に一度しかない
- プレゼンテーションに慣れているメンバーが居ない

1.5 成果物

- 発表用スライド
- 最終レポート
- 予稿

1.6 日程と終了

1.6.1 日程

- 6月12日 第一回ミーティング
 - プレーンストーミングによるアイデア出し
 - 成果物報告場所の作成 (GoogleDrive にて共有)
- 6月16日 第二回ミーティング
 - テーマ決定
 - ホログラムを用いて何ができるのか話し合い
- 7月3日 第三回ミーティング
 - 中間発表練習
- 7月5日 第四回ミーティング
 - 中間発表練習
- 7月6日 中間発表
- 7月17日 第五回ミーティング
 - 最終発表の仮原稿添削
- 7月24日 第六回ミーティング
 - 最終レポート添削
- 8月6日 第七回ミーティング
 - 最終発表スライド添削
- 8月7日 第八回ミーティング
 - 最終発表原稿添削
- 8月12日 第九回ミーティング
 - 第一回発表練習
- 8月13日 第十回ミーティング
 - 第二回発表練習
- 8月14日 最終発表

1.6.2 終了

- 8月14日のPD 最終発表にて発表する。また、スライドや予稿の提出も期限内に行う。

2 プロジェクト計画・実績

2.1 目標とスコープ

2.1.1 目標

8月14日のプロジェクトデザイン最終発表にて発表する。また、スライド、予稿を期限内に提出する。

2.1.2 スコープ

以下にプロダクトスコープを示す

- 最終発表スライド
 - － 8月14日までにアップロードする
 - － 12分の発表に十分収まるスライドを作成する
- 最終レポート
 - － 6ページの最終レポートを作成する
 - － 企画内容や新規性・社会性など指定された内容を記述する
- 予稿
 - － 企画内容やメンバーなどを指定の場所にアップロードする
 - － 発表スライドをアップロードする

2.2 WBS とアクティビティ

以下に WBS を示す。

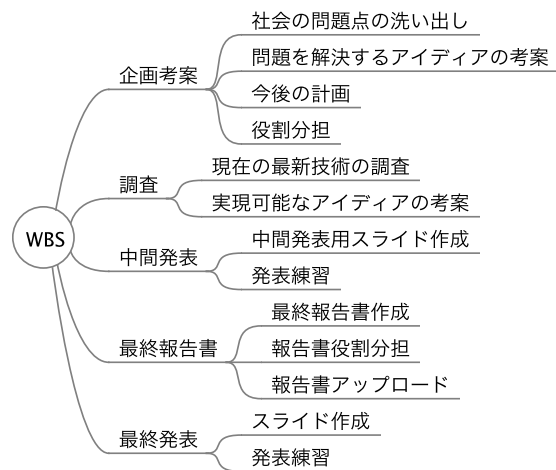


図 1 WBS

2.3 スケジュール

2.4 リスクと課題

2.5 チームとコミュニケーション

2.6 実績と品質

2.7 応用

3 終結

3.1 概要

3.2 メンバー評価

3.3 プロジェクト評価

3.4 教訓

3.5 講義

3.6 関連資料